なは市民活動支援センター
（那覇市市民文化部まちづくり協働推進課）
〒900-0004 那覇市銘苅 2-3-1
なは市民協働プラザ 2 階
（2019 年 12 月発行）

なはセン通信

Vol.43

なは市民協働大学、なは市民協働大学院 成果発表会 ＆ 卒業式・修了式 実施しました！

11 月 23 日（土）は、６月にスタートした『なは市民協働大学』の受講生による成果発表会＆卒業式を実施しました。

それまでの講義においても、受講生のまちづくりに対する熱意は高く、講義が終了したあとも熱く語りあう姿がみうけられました。

那覇市には地域課題が多くあり、市民、企業、行政などが力を合わせて解決する方向を見つけなければなりませんが、まずは地域課題に気づき、その課題に向き合う事から始まります。

入学式、修了式を合わせ全８回、さらに第２回目の講師のご厚意により実施された自主ゼミも合わせると、全９回実施し、グループ毎に行なった成果発表では、城間学長はじめ参加した方たちが深く考えさせられ、内容はユーモアにあふれ、会場中に笑いが響いたりと、それぞれのグループのカラーが発揮されていました。

成果発表後、城間学長より修了証書を受け取った皆さんの笑顔は大変誇らしいものでした。

45 名の申込み者の中から協働大学の規定により、修了証をお渡ししたのは 32 名でしたが、例年よりも多い数字で、今年度の受講生の熱意を反映したものとなりました。

11 月 24 日（日）には、協働大学と同時期に協働大学の上級編としてスタートした『なは市民協働大学院』の受講生による成果発表会を実施しました。

今年は「じっくり、しっかり、ちゃかり」をコンセプトに、６つの小学校区にわかれそれぞれの小学校区の地域が抱える課題を掘り下げ、課題解決にむけた企画を立て発表しました。

大学院は『コーディネーター的視点を持った人材〝那覇人（なはびと）〟』の育成を目的としたプログラムとなっており、３１名の受講生のうち、修了生は 28 名でした。

協働大学修了生、協働大学院の修了生は習得した知識や経験を活かし、那覇市協働によるまちづくり協議会の〝協働大使〟として、今後も那覇市の協働による事業で活躍される予定で、来年２月８日（土）は大使委嘱式も予定しています！今後の活躍をこうご期待！！

センターで活動されている皆さまの交流の場として活用ください！

第 35 回 Fun日カフェ開催！12/20(金)12:00～

フードドライブ(ご家庭で余っている食品の寄付)も同時に受け付け！

FUNNICHI COFFEE

～ 年末年始の開館について ～

・12 月 27 日は館内清掃により、午後より閉館となります。

・令和元年 12 月 29 日（日）～令和２年１月３日（金）は休館となります。

・令和２年１月４日（土）は９時より開館いたします。

「協働の NEXT ステージを考えるワーキンググループ」
無事、終了！報告会を実施します！

８月に実施した横山芳春氏による基調講演をうけ、９月よりスタートした『那覇市民と市職員が語る協働の 20 年 協働の NEXT ステージを考えるワーキング会議』は、11 月 22 日（金）の開催をもって、合計３回の日程が無事終了しました。

協働によるまちづくりに興味を持つ市民、普段から地域課題に取り組み、市民活動をされている方々、市職員がグループになり「何のために協働するのか、そのために今、何をするべきか」について考え、議論しました。そして「市民としてすべきこと」「職員としてするべきこと」に整理し、１月 21 日（火）には市長へ報告会を実施する予定です！

季節のお飾り

エコットの宮島さんより季節のお飾りが届きました。今月は優しいお顔のサンタクロースとクリスマスケーキが登場！

先月の絞り細工の髪飾りは手に取ってご覧になる方も多く、今月の絞り細工のポインセチアも見事です！個人的にはタオルアートのトナカイの表情がたまりません。

是非、手に取ってご覧ください！

「クリスマスは、イエス・キリストの誕生日であって、プレゼントが貰える日ではないんだよ」という事を、そろそろ姪っ子に教えておこうと思っています。

次年度 支援ブース・事務室 入居公募について

なは市民活動支援センターの２階にあります、市民活動団体向けの施設、支援ブース・事務室について令和２年４月より入居予定の公募締め切りは、12/26（木）17:00 までとなっております。２階事務室、那覇市の公式サイトでも要項等確認できます。

市民活動の拠点をお探しのかた、どうぞご検討ください。

また、令和２年３月末で最長利用期限（３年目）となる団体の皆さまにおかれましても、改めて応募頂く形となりますので、お忘れなく！

●なは市民協働プラザ地下駐車場について

消防局の隣に建設中の「ナハメカルパーキング」の供用開始に合わせ、来年３月頃より有料となります。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

駐車基本料金	
最初の１時間まで	300 円
１時間超え 30 分までごと	100 円

※利用時間が３０分に満たない場合は３０分として計算する

なは市民活動支援センター利用者駐車料金	
最初の２時間まで	100 円
２時間超え１時間ごと	100 円

※利用時間が１時間に満たない場合は１時間として計算する

情報スペース＆BOOK

情報コーナーの図書について、新たな企画が始まりそうです！ただし、本格的なスタートは年明け２月以降になるかもしれません…が、お楽しみにお待ちください！

引き続き、市民活動やまちづくりの参考になる書物、毎月届く雑誌を置いてます。窓口で手続きをして頂くことで貸し出しも行っておりますので、ご活用ください。

また、助成金情報紹介のコーナーや、他市の市民活動情報等もございます。地域の皆さんの活動が『幸せ』に繋がる情報を発信しておりますのでどうぞご利用ください。

「知らないことは人に聞け」
を、モットーに過ごしてきたわたくし…
自分で調べると、情報迷宮から
出られなくなってしまうんです。
ですから、教えてください…

シリーズ第8弾！

「何をしているトコですかっ？」

当センターの3階には、まちづくりに関わりの深い団体が入居し活躍されています。
そこで、それぞれの団体の活動内容や、今後の目標などをここで紹介していきたいと思います。

那覇市市民文化部　まちづくり協働推進課

―「まちづくり協働推進課」とはどういった組織ですか？

那覇市では“協働によるまちづくり”を市政運営の土台と位置付け、全庁を挙げて各種施策を展開しています。当課は“協働によるまちづくり”を具現化する庁内の最前線として「市民力」や「地域力」を育み・高めていくための様々な事業を行っている部署です。

現在、市内全 36 小学校区にまちづくり協議会の設立を目指す「校区まちづくり協議会支援事業」を始め、ボランティアを行う側と求める側をマッチングさせる「人材データバンク(モデル)事業」、「自治会活動育成事業」、「那覇市協働大使委嘱事業」、「なは市民協働大学・大学院」、「市民活動支援事業」など、市民・地域の皆さんや自治会など、地域活動を実践している個人・団体等と「協働」しながら事業を展開しています。

―まちづくりになぜ、「協働」が必要なんですか？

少子高齢化や、貧困問題、子育てに関する問題、大規模な自然災害時の問題といった「社会背景の変化による課題」は、全国的にも近年の大きな課題となっています。社会問題の多様化・高度化が進み、独居老人の見守りや災害に備えた防災意識の向上、或いは子どもの見守りなど、行政、或いは個人や特定の団体だけでは対応できない課題が出現してきています。また、地域の魅力を発信していくためにも「協働」が必要になった背景と言われています。

―「協働によるまちづくり」を推進するうえで意識していることは？

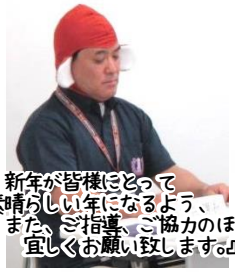
地域には課題や思いがいっぱいあって、その課題や思いを行政も含めて、様々な方々と話し合い、考え、そして、解決に向けて行動する。そのプロセス(手段)が「協働」であること。「協働」によって、お互いに信頼関係が生まれ「絆」となる。その「絆」が繋がりあって「布」となり、地域を優しく覆い尽くす。それが市内全域で広がっている姿が、那覇市の目指す「協働によるまちづくり」の考えである…ということを常に意識しています。

―「協働によるまちづくり」は、いち個人に出来る事があるんでしょうか？

「まちづくり」というキーワードで捉えると、難しく感じる方はいらっしゃると思います。ですが、自治会、PT(C)A、もっと範囲を縮めて、隣り近所、日常で出会う人や物事に目線を向けた時、困っている方がいれば「何かお困りですか？」と声をかける。実際にお手伝いできる事はなかったとしても、そこで「絆」が生まれ、その絆が“協働によるまちづくり”の第一歩だと考えます。

また、玄関先にゴミが落ちていたら拾って家のゴミ箱に入れる。これは立派なボランティアで「協働」の一歩。地域のために「できる方が、できるときに、できることをやる」それが「地域力の向上」に繋がり、自分に返ってくる。これが「協働によるまちづくり」の基本的な考えです。ですから、普段の生活の中で個人が出来る「まちづくり」はたくさんあると思います。

ぜひ、まちづくりの第一歩を！



又吉　弘　課長

―今後の目標などありましたら聞かせてください。

「校区まちづくり協議会」については、市内の各地で協議会設立の機運が高まり、現在、市内 36 校区中 11 校区で協議会が設立され、校区内の自治会や PT(C)A 及び地域で活動する個人・企業・事業所等、地域の全ての方が連携・協力して地域の課題を解決するための取り組みを行っています。

それが、市内全域に広がっている姿を目標に課員一丸となって業務に取り組んでいます。ぜひ皆さまの力をお貸しください。

学生時代から野球で鍛えられたスポーツマン精神は 5●歳の今も健在。豪快なようでいて細かい気配りが課長というよりも「キャプテン」「頼れる兄貴（父ちゃん？）」という感じで職員から慕われています。因みに、親父ギャグへの展開スピードは課内一！メジャー級です。
※昨年度の「なは市民協働大学（10 月ハロウィン仮装）」時の写真です。

助成金等情報

『ろうきん・わしたシマづくり運動』

募集期間：2020 年 1 月 31 日（金）当日消印有効

内　　容：寄付額（総額 100 万円）を複数団体へ、数年間にわたり継続的に寄付することを基本とし、委員会において各団体への寄付額および寄付期間を決定します。

応募資格：①沖縄県内で経済、福祉、環境、文化等に関わる活動に取り組む非営利団体等（法人格の有無は問いません）
②宗教活動、政治活動を目的としない団体であること
③沖縄県労働金庫に寄付金受取口座として応募団体名義の普通預金口座を開設しているか、もしくは今後に開設できる事

そ の 他：「ろうきん NPO 事業サポートローン」にて、労福協 NPO 融資利子補給制度のご案内も行っております。

【お問合せ】沖縄県労働金庫 経営統括部　TEL：098-861-1196　mail：keiei_toukatsu@okinawa-rokin.or.jp

『那覇青果社会貢献基金助成金』

募集期間：2020 年 2 月 29 日（土）当日消印有効

内　　容：1 団体あたり、50 万円を限度。審査結果等により助成金決定額が申込み金額と異なる場合や希望に添えない場合があります。

助成対象：沖縄県内の次の事業で、事業期間は 1 年以内とします。
①自然環境保全　②希少生物の保護・育成　③児童生徒の食生活

【お問合せ】那覇青果物卸商事業協同組合　総務部総務課　TEL：863-4171　FAX：863-4175
HP：http://nahaseika.or.jp

※最新の情報や詳細は、各お問合せ先の応募要項を必ずご確認ください。

なは市民活動支援センター

市民による自主的で営利を目的としない、協働によるまちづくりのための社会貢献活動（市民活動）を行なうための拠点施設として、市民団体の方が集まりやすく連帯しやすくすることを目的としています。

なは市民活動支援センター　検索

お問合せ　なは市民活動支援センター
〒900-0004
那覇市銘苅 2-3-1 なは市民協働プラザ 2 階
TEL：098-861-5024 / FAX：098-861-5029
メール：C-KATU005@city.naha.lg.jp

会議室　料金一覧表			
会議室①	84 人	¥1,300/1h	¥400/1h
会議室②	36 人	¥650/1h	¥200/1h
会議室③	45 人	¥650/1h	¥200/1h
会議室④	18 人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑤	15 人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑥	15 人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑦	12 人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑧	24 人	¥250/1h	¥100/1h
研修室①（和室）	16 人	¥200/1h	¥100/1h
研修室②	17 人	¥200/1h	¥100/1h

印刷機　使用料	
白黒・A3 サイズ以下	¥1/枚
カラー・A3 サイズ以下	¥4/枚

※内容確認のため、原則として印刷物の一部提出をお願いしております。
※印刷用の用紙もお持ちください。
※USB 等のメディアからは直接印刷はできません。